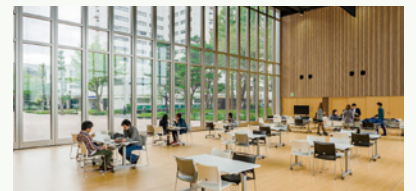


# 獨協大学平成24年度事業報告

- **経済学部**  
「国際環境経済学科」の開設準備
- **学生センターの建設**
- **奨学金の充実**

平成24年度は、「基本計画・第6次見直し(23～28年度)」に準拠し、「攻め」の改革を継続しました。特に教学部門では平成25年4月の開設に向けた経済学部新学科「国際環境経済学科」の諸準備や既存カリキュラムの改正に取り組みました。  
また、すべての学生のキャンパスライフの充実と課外活動の拠点となる全人教育のシンボル「学生センター」が竣工し、更なる学生サービス、学生支援の強化を図る第一歩を踏み出した年となりました。



学生センター1階「雄飛ホール」

## 平成24年度 事業報告書(主な内容)

(単位:百万円)

	事業内容	結果・備考等	予算	実績	差異
教学関係	1) 経済学部新学科開設準備支援(平成25年4月開設)	1) 平成25年度新学科開設に向けた広報活動やカリキュラム開発等ソフト、ハードの両面にわたっての開設準備を行いました。	5.0	5.4	△0.4
	2) 「学習ポータルサイト」運営支援	2) 平成23年5月に運用を開始した大学総合情報システム「学習ポータルサイト」の利便性の向上とサービスの充実を図りました。	21.1	17.8	3.3
	3) 学部・学科教育の活性化	3) 各学部・学科が様々な視点、発想により、独自の裁量で執行する活性化促進費の活用により、教育研究の充実を図りました。	27.3	18.7	8.6
	4) 全学共通カリキュラム英語教育の支援	4) WEBサイトの充実、FD・講座開発研究、全カリ英語教育活動報告書の制作・発行等、全学共通カリキュラムの英語教育促進に努めました。	23.0	22.6	0.4
	5) 大学院教育の活性化	5) 魅力ある大学院として、広報強化を図りました。	2.7	2.2	0.5
	6) 「外国語教育研究所」の研究体制整備	6) 研究体制の充実を図り、慶應義塾大学外国語教育研究センターとの共催でシンポジウム「外国語教育の中高大接続・連携—その現状と展望—」の開催等を実施しました。	12.0	4.9	7.1
	7) 「情報学研究所」の研究体制整備	7) 研究体制の充実を図り、中国西南科技大学および技術学院との研究交流や情報処理学会共催の研究発表等を実施しました。	12.0	7.5	4.5
	8) FD、SD活動の推進	8) FD、SDを推し進め、教育環境改善に努めました。	10.0	7.0	3.0
	9) 国際交流活動の推進	9) 世界の高等教育機関が集う国際教育交流の場(NAFSA総会)に参加し、広報活動を展開するとともに、新規協定校開拓に努め、新たに2校と協定を結びました。	9.0	4.1	4.9
学生サービス・その他	1) 東日本大震災罹災学生の支援(奨学金)	1) 東日本大震災罹災学生に対し、前年度に引き続き学納金減免の特別措置を実施しました。	50.0	29.7	20.3
	2) キャリア形成教育、キャリアカウンセリングの強化支援	2) 就職支援推進プログラム(文科省平成21年度)の採択を機に増員強化したキャリアカウンセラーによる就職支援に引き続き取り組みました。	10.5	8.0	2.5
	3) 奨学金の拡充(「父母の会」からの支援)	3) 「父母の会」からの支援により「獨協大学父母の会奨学金」を100名(前年比25名増)に給付しました。	27.0	26.3	0.7
	4) 抗体検査の実施費用補助	4) 感染症対策として、はしか等の抗体検査費用の補助を行いました。	1.3	0.7	0.6
	5) 「創立50周年記念事業準備委員会」の設立	5) 「獨協大学創立50周年記念事業実行委員会」が設置されました。また、記念事業の企画・立案・実施に向けての準備として、ロゴデザイン等の制作に着手しました。	5.0	1.1	3.9
	6) 創立50周年記念寄付金募集プロジェクトの検討	6) 「獨協大学創立50周年記念事業寄付金募集委員会」が設置され、寄付金募集計画について検討を進めています。			
施設・設備関係	1) 「学生センター」の建設	1) 新たな学友会活動の拠点となる学生センターの竣工により、学友会活動の活性化と学生サービスの向上および学生生活の充実が図られました。	1,764.1	1,744.2	19.9
	2) ランドスケープ事業(ウエルカムプラザ、ステージスクエア他)	2) 学生センター建設に伴う周辺エリアを整備し、本学の新たな表玄関に相応しい景観整備を行いました。	125.8	159.6	△33.8
	3) 第1棟跡地に隣接する水門の移設工事	3) 水門移設により、景観が良好になるとともに、学生等の動線がスムーズになりました。	57.0	77.0	△20.0
	4) 中央棟の老朽化対策と利用改善のための改修・設備更新	4) 経年劣化した配管・衛生設備の更新および美装化改修を3～10階において実施しました。	110.0	110.6	△0.6
	5) 外国人留学生宿舎整備	5) 経年劣化のあった借上げ宿舎の形態を止め、UR都市機構を活用した新たな管理運営方法を導入し、効率化を図りました。	21.8	15.7	6.1
	6) DAINETⅢの整備とデータベースの保全	6) DAINETⅢの整備を進めるとともに、危機管理上の必要性からデータベースの保全管理に努めました。	60.1	55.5	4.6
地域貢献関係等	1) オープンカレッジ、特別市民講座の実施	1) 広報強化により、本学の公開講座を広くアピールするとともに、受講者の様々なニーズに応えるべく、新規に14講座を開設し充実を図りました。	3.6	4.0	△0.4
	2) 地域総合・環境共生研究所の市民向けシンポジウム開催	2) 地域総合・環境共生研究所合同のシンポジウム「首都直下型地震に備える—地域・環境から考える—」を開催し、地域社会に向けた情報発信を積極的に展開しました。	4.0	1.2	2.8
	3) 埼玉県、草加市、自治体、UR等との連携強化	3) 草加市文化交流事業に積極的に関わり、交流事業を展開しました。また、草加市・UR都市機構・獨協大学との意見交換会を実施しました。	0.1	0.2	△0.1

### 主な用語について

- **帰属収入** 当該年度に純粋に帰属する収入で、負債となる借入金や次年度分の授業料等の前受金などは計上されない。
- **学生生徒納付金** 授業料、入学金、施設設備費、その他の実習費等。
- **手数料** 入学検定料、証明手数料等。
- **補助金** 国や地方公共団体等からの補助金。
- **雑収入** 他のいずれの収入科目にも該当しないもの。(本学では主に退職金財団からの交付金等。)
- **基本金組入額** 学校会計では、帰属収入から、学校の基礎となる資産、将来計画のための資産、基金(奨学金基金等)として継続的に保持する資産、恒常的安定経営のための資金の4項目について基本金として確保し、残りを消費支出として運営に充てるように規定している。

- **消費支出** 当該年度において消費される人件費、教育研究経費、管理経費と資金の移動を伴わない退職給与引当金繰入額、減価償却額等が計上される。
- **人件費** 専任の教員、職員、及び非常勤の教員、臨時職員に支給される給与、賞与、各種手当、並びに健康保険、年金、労働保険などの大学負担分(所定福利費)と、退職給与引当金繰入額の総額。
- **教育研究経費** 教育研究に直接要する経費の他、教育研究を補助するための事務費、学生厚生に要する経費、入学試験の経費、及びこれらの諸活動を行う施設設備を維持する経費、並びにその減価償却額の総額。

# 平成25年度事業計画のポイント

「創立50周年へ向けて不断の改革を」

## 今年度の取り組みをお知らせします。

平成25年度は、「基本計画・第7次見直し(平成25～30年度の6年間)」のスタートの年です。経済学部にも新学科「国際環境経済学科」が誕生し、4学部11学科4研究科を擁する文科系総合大学としての陣容を整え、来年度の大学創立50周年に向け大きく動き出す年となります。

### 教学関係

- 国際環境経済学科開設支援
- 「学習ポータルサイト」運営支援
- 全学共通カリキュラムの英語教育の支援
- FD、SD活動の推進
- 国際交流活動の推進

本年度4月に開設した「国際環境経済学科」の運営支援を行うとともに、「EGAP英語教育の充実(平成21年度大学改革推進事業採択プログラム)」の成果を受け、引き続き支援します。

また、サービス開始から3年目を迎えた大学情報総合システム「学習ポータルサイト」の利用促進を図ります。さらに、FD、SDを推進めさらなる教育環境改善に努めるとともに、世界各国の大学との交流促進と内なる国際化を図ります。

### 学生サービスその他

- 東日本大震災罹災学生の支援
- キャリア形成教育・キャリアカウンセリングの支援
- 奨学金の拡充(父母の会からの援助他)
- 「創立50周年記念事業」等の準備・推進

東日本大震災から2年が経過しますが、罹災学生支援として、引き続き学費減免等の特別措置を講じます。また経済的事由により学業を断念することがないよう、「父母の会」の援助を受けて、奨学金を給付します。

加えて、記念寄付金の募集を開始するなど、創立50周年記念事業の企画・立案・実施の準備をします。



4月に誕生した「国際環境経済学科」

### 今年度の重点項目

- 1 国際環境経済学科開設支援
- 2 「学習ポータルサイト」運営支援
- 3 全学共通カリキュラムの英語教育の支援
- 4 FD、SD活動の推進
- 5 国際交流活動の推進
- 6 東日本大震災罹災学生の支援
- 7 キャリア形成教育・キャリアカウンセリングの支援
- 8 奨学金の拡充(父母の会からの援助他)
- 9 「創立50周年記念事業」等の準備・推進
- 10 西側新教室棟建設の検討・調査
- 11 「伝右川水辺再生事業」に係わる周辺整備他キャンパスランドスケープ計画の推進
- 12 中央棟の改修
- 13 地域総合研究所、環境共生研究所の市民向けシンポジウム開催
- 14 埼玉県、草加市をはじめとした周辺自治体、UR都市機構等との連携強化

### 施設・設備関係

- 西側新教室棟建設の検討・調査
- 「伝右川水辺再生事業」に係わる周辺整備他キャンパスランドスケープ計画の推進
- 中央棟の改修

創立50周年記念事業の一環として、西側新教室棟建設計画に着手します。昨年度に完成した「伝右川水辺再生事業」の主要部工事に続き、その周辺を整備します。さらに、中央棟の改修を行います。

### 地域貢献関係等

- 地域総合研究所、環境共生研究所の市民向けシンポジウム開催
- 埼玉県、草加市をはじめとした周辺自治体、UR都市機構等との連携強化

地域社会に向けたシンポジウムを開催し、研究所の成果を積極的に情報発信します。

また、草加市文化交流事業に積極的に関わるとともに、UR都市機構等とも連携し、新たなまちづくりに協力します。

# 平成25年度 事業計画書

(単位：百万円)

	事業名称	事業内容	予算
教学関係	1) 国際環境経済学科開設支援	1) 経済学部新たに開設された「国際環境経済学科」の運営支援を行います。	3.0
	2) 「学習ポータルサイト」運営支援	2) サービス開始から3年目を迎え、さらなる利用促進を図ります。	20.4
	3) 全学共通カリキュラムの英語教育支援	3) 「EGAP英語教育の充実(平成21年度大学改革推進事業採択プログラム)」の成果を受け、引き続き支援します。	22.0
	4) 大学院教育の活性化と志願者増に向けた広報展開	4) 効果的な広報展開を行い、志願者増に繋がります。	3.0
	5) FD、SD活動の推進	5) FD、SDを推し進め、さらなる教育環境改善に努めます。	5.9
	6) 国際交流活動の推進	6) NAFSA年次総会やアジア留学フェア(APAIE)に参加し、世界各国の大学との交流促進と同時に内なる国際化を図ります。	10.0
学生サービス・その他	1) 東日本大震災罹災学生の支援	1) 東日本大震災から2年が経過しますが、罹災学生支援として、引き続き学費減免等の特別措置を実施します。	30.0
	2) キャリア形成教育・キャリアカウンセリングの支援	2) 経済不況が続く中、「父母の会」からの支援を受け、引き続き就職支援に取り組みます。	10.2
	3) 奨学金の拡充(「父母の会」からの援助他)	3) 経済的事由により学業を断念することがないよう、「父母の会」とも連携を図り、奨学金を給付します。	27.0
	4) モバイル端末対応を含めた携帯サイトの拡充	4) 携帯サイトを重要な情報発信源と捉え、拡充を図ります。	5.0
	5) 「創立50年史」の編纂	5) 平成26年の創立50周年に向け、引き続き「創立50年史」の編纂を進めます。	20.0
	6) 「創立50周年記念事業」の準備	6) 創立50周年における記念事業の企画・立案・実施に向け準備を進めます。	
	7) 「創立50周年記念寄付金募集」事業	7) 創立50周年記念事業の実施と関連して、広く記念寄付金の募集を開始します。	0.1
	8) ワーク・ライフ・バランスに関する調査	8) 「ワーク・ライフ・バランスの推進に関する委員会(仮称)」設立に向けた準備を進め、働きやすい職場環境の検討・調査を行います。	
施設・設備関係	1) 西側新教室棟建設の検討・調査	1) 創立50周年記念事業の一環として、西側新教室棟建設計画に着手します。	0.5
	2) 松原団地建て替えに伴う大学用地取得等の検討・調査	2) 大学用地取得等については、旧敬和館跡地(竹ノ塚)の売却を含め、検討・調査を行います。	0.5
	3) 「伝右川水辺再生事業」に係る周辺整備他キャンパスランドスケープ計画	3) 「伝右川水辺再生事業」の主要部は完成しましたが、その周辺整備の工事を行います。	83.0
	4) 中央棟の改修(外壁、1～3階の配管、衛生設備他)	4) 外壁に一部損傷等が見られることから、改修を行うとともに、配管・衛生設備を更新し、併せて美装化を行います。	250.0
	5) 第4、5棟の空調設備更新	5) 経年劣化した空調設備を、年次計画に基づき、更新します。	32.0
	6) CAL教室の情報機器更新	6) CAL8教室すべての情報機器を更新することで、全教室を同環境にし、より円滑で効率的な管理運営を図ります。	47.8
	7) 個人研究室他のPC等更新	7) 既存PCのOSサポート終了に伴い、PCおよび関連情報機器を更新します。	25.4
地域貢献関係等	1) オープンカレッジ、特別市民講座の実施	1) 受講者の様々なニーズに応えるべく、さらなる開設講座の拡充・充実を図ります。	1.1
	2) 地域総合研究所、環境共生研究所の市民向けシンポジウム開催	2) 地域社会に向けたシンポジウムを開催し、情報発信を積極的に展開します。	4.0
	3) 埼玉県、草加市をはじめとした周辺自治体、UR都市機構等との連携強化	3) 草加市文化交流事業に積極的に関わるとともに、UR都市機構等とも連携し、新たなまちづくりに協力します。	0.3
	4) 地域市民との意見交換会、グラウンド貸出し等の実施	4) 地域市民との交流の場として、意見交換会の実施のほか、グラウンド貸出し等を行います。	
	5) 高校生への大学施設(図書館)開放	5) 夏休み、春休み期間に、高校生に対し図書館を開放します。	0.1